



平成19年2月28日

大阪経済記者クラブ 会員各位  
(同時配布先：東商記者クラブ)

大阪商工会議所

## ビジネス会計検定試験®の実施について

大阪商工会議所(会頭=野村明雄・大阪ガス会長)は、PWA(仕事の段取り力)検定試験、メンタルヘルス・マネジメント検定試験に次ぐ、大阪商工会議所企画検定試験の第三弾として「ビジネス会計検定試験®」を開発し、7月に第1回目の試験を実施することになった。

この検定試験は、貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を理解できる能力を問うもので、財務諸表を作成するという立場でなく、財務諸表が表す数値をどのように情報として理解し、ビジネスに役立てるかに重点を置いている。

本検定試験では1～3級を設定するが、第1回目の検定試験は7月29日(日)に3級のみを大阪と東京で実施。平成20年2月3日(日)に2級と3級を実施する予定。1級は、2級、3級の施行状況をにらみながら実施時期などを決めることにしている。

なお、3級は、会計の用語、財務諸表の構造・読み方など財務諸表を理解するための基礎的な力を身に付けるとともに、基本的な分析ができる能力を問う。3級公式テキストは3月1日に中央経済社から発行予定。(詳細は別紙実施概要のとおり)

【問い合わせ先】大阪商工会議所 人材開発部 検定担当(熊谷、島田)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番8号

TEL: 06-6944-6430 / FAX: 06-6944-6330

---

職務遂行能力の向上のために、主に若手社員・大学生を対象に、プロジェクトマネジメントの基本的知識を問うもの。平成17年12月開始。

人事労務管理推進のために、企業に働くすべての従業員を対象にメンタルヘルスの知識・ノウハウを問うもの。平成18年10月開始。

# ビジネス会計検定試験® 実施概要

～ 社会人・大学生の会計リテラシー向上のために～

平成19年2月28日

大阪商工会議所

# 1. 背景・趣旨

企業の経営活動が複雑化、多様化する中で、自社や取引先あるいは投資先などの経営実態を正しく把握するための手段として、代表的な企業情報である会計情報（貸借対照表や損益計算書などの財務諸表）を理解できる能力（会計リテラシー）がますます重要になっている。

特に企業においては、会計情報に関する知識・スキルは、経理・財務部門だけでなく、営業や企画、総務などさまざまな部署で、また新入社員から経営幹部まで幅広く求められる能力である。

大阪商工会議所は、こうした状況を踏まえ、財務諸表を作成するという立場でなく、これらをどのように情報として理解し、ビジネスに役立てるかということに重点を置いた「ビジネス会計検定試験®」を開発し、今般実施する運びとなった。

本検定試験は、財務諸表に関する会計基準、諸法令、構造などの知識や分析を通して、財務諸表が表現する企業の財政状態、経営成績、キャッシュ・フローの状況などを判断できる能力を問うものであり、商工会議所が従来実施している日商簿記検定試験に加えて本検定試験を実施することにより、会計リテラシーを持つ人材の裾野を拡大したい。

## 2. 級別概要

	3級	2級	1級
<b>到達目標</b>	会計の用語、財務諸表の構造・読み方など財務諸表を理解するための基礎的な力を身につける。	企業の経営戦略や事業戦略を理解するため、財務諸表を分析する力を身につける。	企業の成長性や課題、経営方針・戦略などを理解・判断するため、財務諸表を含む会計情報を総合的かつ詳細に分析し、企業評価する力を身につける。
<b>主な対象</b>	一般社員、大学生、専門学校生、高校生、一般市民	一般管理職、経営者・経営幹部、経理実務担当者、大学生	経理財務担当マネジャー、財務担当役員、経理財務のエキスパート
<b>出題範囲</b>	<p>1. 財務諸表の構造や読み方に関する基礎知識            会計の意義と制度            貸借対照表、損益計算書の構造と読み方</p> <p>2. 財務諸表の基本的な分析</p> <p>基本構成分析            成長性            収益性              1株当たり分析            安全性              1人当たり分析</p>	<p>1. 財務諸表の構造や読み方、財務諸表を取り巻く諸法令に関する知識            会計の意義と制度            会社法および金融商品取引法            貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、株主資本等変動計算書、製造原価明細書、附属明細書の種類            連結財務諸表の構造と読み方</p> <p>2. 財務諸表の応用的な分析</p> <p>構成分析            連単倍率            成長性            収益性              1株当たり分析            安全性            キャッシュ・フロー指標            損益分岐点              1人当たり分析            手元流動性 など</p>	<p>1. 会計情報に関する総合的な知識</p> <p>会計基準            会社法および金融商品取引法            貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、株主資本等変動計算書、製造原価明細書、附属明細書の構造と読み方            連結財務諸表の構造と読み方            ディスクロージャー制度</p> <p>2. 財務諸表を含む会計情報のより高度な分析            構成分析            連単倍率            成長性            収益性              1株当たり分析            安全性            キャッシュ・フロー指標            損益分岐点            生産性            手元流動性 など</p>

\* 試験問題は当該年度の4月1日現在で施行されている関連法令等に準拠することとする。

### 3. 施行方法

	3級	2級	1級
施行形式	年2回の公開試験（統一日に指定会場で実施）		年1回の公開試験（同左）
受験資格	学歴・年齢・性別・国籍に制限を設けない。		
問題形式	マークシート方式		マークシート方式と 論述式
試験時間	2時間		マークシート2時間 論述 1時間
合格基準	100点満点とし、70点以上をもって合格とする。		
受験料 （税込み）	4,200円	6,300円	10,500円
試験開始 予定	平成19年7月	平成20年2月	未定

### 4. 運営主体

主催：大阪商工会議所

協力：各地商工会議所

## 5. 平成19年度実施計画

	第1回	第2回
実施日	平成19年7月29日(日)	平成20年2月3日(日)
実施級と時間	3級：10：00～	2級：13：30～ 3級：10：00～
試験地	大阪・東京	

公式ホームページ(3月1日開設予定)

URL = <http://www.b-accounting.jp/>

## 6. 公式テキスト

3級：3月1日 全国主要書店で発売予定

(大阪商工会議所編 / 中央経済社刊 (定価 1,470円))

2級：7月ごろ 全国主要書店で発売予定

# 大阪商工会議所ビジネス会計検定試験検定委員名簿

(敬称略・氏名五十音順。平成19年1月1日現在)

## 【委員長】

平松 一夫 関西学院大学学長

## 【副委員長】

亀井 信吾 大阪ガス株式会社理事・財務部長

松尾 聿正 関西大学大学院会計研究科教授

## 【委員】

会田 一雄 慶應義塾大学総合政策学部教授

伊藤 邦雄 一橋大学大学院商学研究科教授

大谷 洋 株式会社ユニオン管理部長

梶浦 昭友 関西学院大学商学部長

鎌田 信夫 中部大学経営情報学部教授

櫻井 久勝 神戸大学大学院経営学研究科教授

柴 健次 関西大学大学院会計研究科教授

須田 一幸 早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授

徳賀 芳弘 京都大学大学院経営管理研究部教授

八田 進二 青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授

藤沼 亜起 日本公認会計士協会会長

松本 道弘 大阪商工会議所常務理事・事務局長

宮口 定雄 日本税理士会連合会専務理事

村田 雅幸 株式会社大阪証券取引所執行役員兼上場グループリーダー

弥永 真生 筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授

山口 幸綱 大和ハウス工業株式会社管理本部経理部税務・会計グループ グループ長

吉本 悦章 コクヨ株式会社経理部長

## 【顧問】

石田 三郎 大阪学院大学経営科学部教授